

希学園 第410回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第410回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年7月12日実施)	https://vimeo.com/1208981486/8900745a92

1

(1)	4 0 2 2	(2)	4 5 9 3	(3)	1 1 1 1	(4)	1 2 3 3
(5)	8 8 8	(6)	1 2 0 0	(7)	2 7 8 9	(8)	1 2 0 7
(9)	$\frac{71}{79}$	(10)	㊲ 1 (L)	㊱ 6 0 7 (mL)	(11)	9 5 0 (m)	
(12)	4 5 (m)	(13)	5 6 (本)	(10)完答			

2

(1)	2 5 個	(2)	1 2 個	(3)	4 3 (個)
-----	-------	-----	-------	-----	---------

3

(1)	6 段	(2)	2 (枚)	(3)	1 4 枚
-----	-----	-----	-------	-----	-------

4

(1)	2 8 cm	(2)	1 2 個分	(3)	1 2 (枚)
-----	--------	-----	--------	-----	---------

5

(1)	4 通り	(2)	6 通り	(3)	1 6 通り
-----	------	-----	------	-----	--------

(配点) 各4点×25

1

(6) $378 + 159 + 422 + 241 = 800 + 400 = 1200$

(7) $956 + \boxed{} = 3745$
 $\boxed{} = 3745 - 956 = 2789$

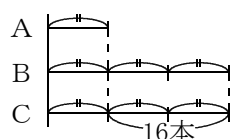
(8) $2026 - \boxed{} = 819$
 $\boxed{} = 2026 - 819 = 1207$

(10) $4 \text{ L } 5 \text{ dL} - \boxed{\text{㊲}} \text{ L } \boxed{\text{㊱}} \text{ mL} = 2 \text{ L } 893 \text{ mL}$
 $\boxed{\text{㊲}} \text{ L } \boxed{\text{㊱}} \text{ mL} = 4500 \text{ mL} - 2893 \text{ mL}$
 $= 1607 \text{ mL} = 1 \text{ L } 607 \text{ mL}$

(11) $2 \text{ km } 83 \text{ m} - \boxed{} \text{ m} - 95 \text{ m} = 1 \text{ km } 38 \text{ m}$
 $2083 \text{ m} - \boxed{} \text{ m} = 1038 \text{ m} + 95 \text{ m} = 1133 \text{ m}$
 $\boxed{} \text{ m} = 2083 \text{ m} - 1133 \text{ m} = 950 \text{ m}$

(12) 木の数が9本ということは、間数は8個。よって、
 間の長さは、 $360 \div 8 = 45 \text{ (m)}$

(13) 線分図に表すと右のようになる。
 $\overbrace{}^{\text{2つ分が16本なので、}}$
 $\overbrace{}^{\text{1つ分は、16} \div 2 = 8 \text{ (本)}}$
 よって、 $8 \times (1 + 3 + 3) = 56 \text{ (本)}$



2

1, 2, 3, 2 の4個のくり返し。

(1) $50 \div 4 = 12 \text{ (セット)} \text{ 残り } 2 \text{ (個)}$
 $1, 2$
 2は1セットに2個あるので、 $2 \times 12 + 1 = 25 \text{ (個)}$

(2) 1セットで2は1より1個多く、あまりの2個では
 1と2は1個ずつなので、 $1 \times 12 = 12 \text{ (個)}$

(3) 1セットで2は3より1個多い。はじめて10個ちが
 いになるのは、 $10 \div 1 = 10 \text{ (セット目)}$
 $\square$ がもっとも大きくなるのは、11セット目以降でな
 らべた2と3が同じ個数になるときのなので、11セッ
 ト目の3個目。よって、 $4 \times 10 + 3 = 43 \text{ (個)}$

3

表の枚数による上り下りは以下の通り。

表5枚→5段上る、表4枚→3段上る、表3枚→1段上る、
 表2枚→2段下る、表1枚→4段下る、表0枚→6段下る

(1) $5 + 1 + 3 - 4 + 1 = 6 \text{ (段)}$

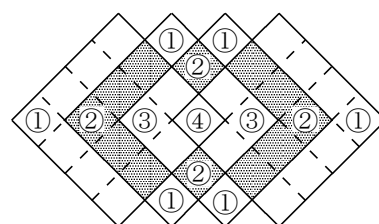
(2) 1回で上る段数は1, 3, 5段、下る段数は2, 4, 6段。
 $\square$ 枚で上り、 $\triangle$ 枚で下る場合、3回で3, 9, 15段上り、
 2回で4, 8, 12段下るので、同じ場所にはもどれない。
 $\square$ 枚で下り、 $\triangle$ 枚で上る場合、3回で6, 12, 18段下り、
 2回で2, 6, 10段上るので、同じ場所にもどるのは、
 上りも下りも6段のとき。3回で6段下るので、1
 回で2段下る。よって、 $\square = 2 \text{ (枚)}$

(3) 1回の上り下りは全部で6パターン。表の枚数が5回
 ともちがうので、1パターンだけ出てこない。1回で
 上る段数1, 3, 5段と、1回で下る段数2, 4, 6段を
 組み合わせて、はじめの場所から1段上になるのは、
 $1 + 3 + 5 - 2 - 6 = 1$ の場合しかない。よって、
 表の枚数の合計は、 $0 + 2 + 3 + 4 + 5 = 14 \text{ (枚)}$

4

(1) 正方形が1枚のとき、まわりの長さは、 $4 \times 4 = 16 \text{ (cm)}$
 正方形が1枚ふえるごとに、まわりの長さは4 cmずつ
 長くなる。よって、 $16 + 4 \times 3 = 28 \text{ (cm)}$

(2) 重なった枚数を調べると、
 右の図のようになる。
 よって、2枚重なった部
 分の広さは、1辺の長さ
 が1 cmの正方形の広さの、
 $5 \times 2 + 1 \times 2 = 12 \text{ (個分)}$



(3) (1)の考え方をうと、 $16 + 4 \times \triangle = 60 \text{ (cm)}$
 $\triangle = (60 - 16) \div 4 = 11 \text{ (枚)} \text{ ふえる。よって、} \square = 12 \text{ (枚)}$

5

ならべたカードを、左から順に㊲㊱㊲㊲㊲とする。

(1) $\uparrow \uparrow \uparrow \downarrow$ と表されるとき、 $\text{㊲} < \text{㊱} < \text{㊲} < \text{㊲} < \text{㊲}$ より、
 ㊲ は5。このとき、 $\text{㊲}, \text{㊱}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}$ のならべ方は、
 $(\text{㊲}, \text{㊱}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}) = (1, 2, 3, 4), (1, 2, 4, 3),$
 $(1, 3, 4, 2), (2, 3, 4, 1)$ の4通り。

(2) $\uparrow \uparrow \downarrow \downarrow$ と表されるとき、 $\text{㊲} < \text{㊱} < \text{㊲} < \text{㊲} < \text{㊲}$ より、
 ㊲ は5。このとき、 $\text{㊲}, \text{㊱}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}$ のならべ方は、
 $(\text{㊲}, \text{㊱}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}) = (1, 2, 4, 3), (1, 3, 4, 2),$
 $(1, 4, 3, 2), (2, 3, 4, 1),$
 $(2, 4, 3, 1), (3, 4, 2, 1)$ の6通り。

(3) $\downarrow \uparrow \downarrow \uparrow$ と表されるとき、 $\text{㊲} > \text{㊱} < \text{㊲} > \text{㊲} < \text{㊲}$ より、
 ㊱ か ㊲ のいずれかが1。
 ・ ㊱ が1の場合、 $\text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}$ のならべ方は、
 $(\text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}) = (2, 4, 3, 5), (2, 5, 3, 4),$
 $(3, 4, 2, 5), (3, 5, 2, 4),$
 $(4, 3, 2, 5), (4, 5, 2, 3),$
 $(5, 3, 2, 4), (5, 4, 2, 3)$ の8通り。
 ・ ㊲ が1の場合、 $\text{㊲}, \text{㊱}, \text{㊲}, \text{㊲}, \text{㊲}$ のならべ方は、 ㊱ が
 1の場合の左右が逆になるだけなので、8通り。
 よって、 $8 + 8 = 16 \text{ (通り)}$

配点：各4点×25